"ROTARY: MAKING A DIFFERENCE"

西条 RC 2017-18 テーマ 「足元を見つめなおしてみよう! ロータリーに変化を」

国際ロータリー第 2710 地区 グループ 8

西条ロータリークラブ 週報 No.2615 2018年2月8日 2月第2例会



本日のプログラム < 西条RC奨学生 屈 凌 様 西条RC奨学生委員会>

2/1 会 長 時 間 金好会長



皆さん、こんにちは。本当に寒い日が続いております。 体調を崩されてはいないでしょうか。 インフルエンザは昨年12月28日に広島県東部で警戒警報発令の基準を上回って以来、東広島市でも1月第2週で基準を上回り、1ヶ月以上警戒警報が広島県で続いております。 今年はインフルエンザAとBが同時に流行して患者数が増加しております。 寒さと空気の乾燥が余計に拍車を掛けているのだと思います。 くれぐれもご注意ください。

さて、本日は、先程行いました毎月第1例会で歌います国歌斉唱についてお話をさせて頂きます。 話は1930年代に遡ります。 当時の日本では、軍部が力をつけ反アメリカに向かっていく流れに傾き、日本は国を挙げて国益を守ろうとして、様々な国々と対立していました。 その時、日本の軍部に強い影響力を持ち協力していったのが右翼といわれる人達でした。 アメリカのシカゴに

本部を置き、名前も横文字のロータリークラブが、その標的になったとしても何等不思議のない社会状勢でありました。 当時の右翼の活動家にとって、そのような団体に圧力を加え解散に追い込むことは最高の勲章でした。 彼等にとっては「スパイ活動をしているだろう」というこの上もない口実だったのです。 そのころ、京都で、右翼団体の京都支部の結成式があり、その席で「ロータリー排撃」の決議がなされ、その決議文が当時の京都RC石川会長に手渡されました。 石川会長は、命がけで「ロータリークラブは決して、親米反日のクラブではない。私達は自分の職業を通じて日本のお役に立とうとしているクラブなのだ」と説いたのです。 後日、ロータリーが国家に従順な姿勢を表明するために「例会で日の丸を掲揚し、君が代を歌う」ことで話し合いをつけたのです。 京都ロータリークラブの会長はじめ会員一同は、死の恐怖を体を張って克服し右翼を納得させて退散させ、ロータリークラブの存続に成功したのでした。 その後、京都RCは全国のクラブに連絡して、日本の全てのRCは例会で日の丸を掲揚し、君が代を歌うことになったとのことです。 ちなみに、1935年日本橋ロータリークラブはこの事件に刺激され、より強くロータリークラブの存続を願ってロータリーソングを作り、例会で唄ったのが全国に拡がりました。「奉仕の理念」と「我等の生業」の2曲がそれです。

歌詞を見ればお解かりの通り、古文で書かれた歌詞、何で平和な時代に「御国に捧げん、我等の業なりわい」という歌を唄うのかこれで理解することが出来ます。 命がけでロータリークラブの存続を守った先輩達に敬意と尊敬の念をもって日の丸を例会場に掲げ、君が代やロータリーソングを唄うのはこのような背景があるとの事です。 頭の片隅にでもおいて頂ければ幸いです。 ありがとうございました。

◇◆◇ プログラムの予告 ◇◆◇

2月15日(木) 例会休み

- 2月22日(木) 情報集会の発表(クラブ研修(情報提供)委員会)
- 3月 1日(木) 西条RCの歴史を振り返り(東広島 21RC創立よもやま話) 藤本洋治会員
- 3月 8日(木) 相続税について(脇博之税理士)
- 3月15日(木) 新会員卓話 佐々木 伸治 会員

前回 (2/1) のプログラム

< ロータリー創立記念日にちなんで クラブ研修委員会 委員長 平賀弥泉 >

ロータリークラブは、1905年にシカゴで誕生して以来 100年以上の歴史があり、現在では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35727、会員数は約122万人となっています。 なぜこれだけ長く、これだけ多数の人々がロータリアンとなって世界中で活動しているのでしょうか。 単なる社交クラブだったり、ボランティア団体であったらここまでの発展はなかったと思います。 そこには何か秘密があるように思われます。

国際ロータリー定款第4条には「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」と規定し、その第2項において「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、



社会奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」とあります。

ロータリーの根幹は職業奉仕にあると言えます。

先月のガバナー月信で前田茂パストガバナーが、「ロータリーとは何か?一言で言えば、ロータリーは職業倫理の提唱団体であり、これが他の団体と差別化するキーポイントである」「寄付、慈善事業、ボランティア活動も行うが、本領は心の開発である」「職業奉仕はロータリーの理念であり、ロータリーの思想と行動の基盤である」「倫理を高め心を磨くことがロータリーの第一義であり、いかに生きるかという生活姿勢を示したものが四つのテストだ」と言われています。 どうやらロータリーの発展の秘密は職業奉仕にあると言っても過言ではないようです。 そこで本日はこの職業奉仕についてお話ししたいと思います。 (例話1)

源信僧都は平安中期の天台の僧で、主著『往生要集』は中国の天台からも高く評価され「日本小釈迦源信如来」の称号を送られています。 また浄土真宗の七高僧の一人でもあり、浄土仏教の基礎を確立された方です。 奈良県當麻の生まれで9歳で比叡山に入門し良源の弟子となりました。 15歳で村上天皇の御前で法華経の講義をし褒美として反物を下賜されます。 源信はそれを母親に送りますが、母親から和歌を添えて送り返して来ました。その和歌は

「後の世を渡す橋とぞ思ひしに世渡る僧となるぞ悲しき」

多くの人をお浄土へ導く架け橋となって欲しかったのに、世渡り上手な僧になるとは何と嘆かわしいと言われたのです。 これを機に源信は心を入れ替え学問修行に励まれたのです。

自分は何のために僧侶になったのか、お金持ちになるためでありませんし、有名になるためでもありません。 しかし、だんだんと欲はふくらんで来るのだろうと思います。

「小慈小悲もなけれども 名利に人師をこのむなり」

これは親鸞聖人晩年 85 歳を過ぎて書かれたご和讃です。この歳になってもお金や名声を欲する心は無くならないと嘆かれているのです。 財欲と名誉欲、これらの欲を無くすことは大変難しいことです。 (例話2)

映画『男はつらいよ・寅次郎かもめ歌』マドンナ役は伊藤蘭、ロケ地は北海道奥尻島です。 寅さんは友人の死を聞いて奥尻島に墓参りに行きます。 そこで会ったのが友人の一人娘スミレ、そしてスミレから「東京に出て働きながら高校に行きたい」と言われ、寅さんはスミレを東京に連れて帰ります。 みんなでスミレの仕事を探して勉強を教えて高校受験を応援します。 そして無事スミレは夜間高校に合格し通うようになります。 その国語の授業のシーンで、先生役松村達雄は、生徒にこう話します。

「これは国鉄の労働者が駅の便所を掃除する時の気持ちを詠んだ詩だ。 駅の汚い便所を思い出しながら聴いてみろ」

(詩)

扉を開けます (下へ) 頭の芯まで臭くなります まともに見ることができません 澄んだ夜明けの空気も臭くします 掃除がいっぺんに嫌になります むかつくようなババクソがかけてあります どうして落ち着いてしてくれないのでしょう ケツの穴でも曲がっているのでしょう それともよっぽどあわてたのでしょう 唇をかみしめ戸のサンに足をかけます 静かに水を流します ババクソに恐る恐るほうきをあてます ボトンボトン便ツボに落ちます かわいたクソはなかなか取れません タワシに砂をつけます 手を突き入れて磨きます(右上へ)

汚水が顔にかかります 唇にもつきます そんな事にかまってられません ゴシゴシ美しくするのが目的です 朝風がツボから顔をなで上げます 心もクソに慣れてきます 水を流します 雑巾でふきます 金隠しの裏まで丁寧にふきます もう一度水をかけます クレゾール液をまきます 白い乳液から新鮮な一瞬が流れます 便所を美しくする娘は美しい子供を産む と言っていた母を思い出します 僕は男です 美しい妻に会えるかも知れません

以前は 3K 労働という言葉がよく聞かれました。「きつい」「汚い」「危険」こういった労働が敬遠されるということです。 誰しもこういった仕事には就きたくないものです。 先程の詩の国鉄職員の人も同じだと思います。 しかし、この人は自分の仕事に誇りを持っています。 駅のトイレを利用する人に気持ち良く使って欲しいと頑張っています。 このようにどんな仕事でも人のため社会のために役立っています。 自分の仕事にそういう誇りをもって働く事が大切です。

「あれを見よ 深山の奥に花ぞ咲く 真心尽くせ 人知れずとも」(作者不詳)

深い山奥に人知れず桜の花が咲いています。 誰に見られることもなく、誰に褒められることもないけれど、とてもきれいに咲いています。

私達は得てして「自分はこんな良い事をしている、自分はこれだけ社会のために貢献している」と自らの 行為を宣伝自慢したがるものです。 しかし、人に宣伝するため、褒められるためにするのではありません。 たとえ人から褒められなくてもいい、気づかれなくてもいい、唯々自分の仕事に真心を尽くしなさい。 真 心をもって自らの仕事をしなさいとこの歌は教えてくれています。 そしてその事がきっと世の中のために なると自分の仕事に誇りを持つ、その矜恃こそがロータリーの職業奉仕という理念です。 どうか皆様、「ロータリーは職業倫理の提唱団体である」という言葉を旨として、倫理を高め心を磨いて下さいます様お願 い申し上げます。 出席報告

会員数39名出席者33名欠席者3名免除者3名来訪者1名出席率91.6%1/18の欠席10名メークアップ10名

通算出席率 99.76%

お祝い時間

○本人誕生日

髙原 良彦 会員 S32.2.8.

栢本 孝光 会員 S40.2.16.

○ご夫人誕生日

武島 洋子 様 2.11.

○結婚記念日

三名田 多佳男 会員 H11.2.3.

○入会記念日

今谷 敏彦 会員 S 50.2.6.

佐々木 正博 会員 H4. 2.6.

寺川 清 会員 H9.2.27.

山田 謙慈 会員 H14.2.21.

上田 俊二 会員 H23.2.17

武島 靖爾 会員 H28.2.4.

奥本 哲之 会員 H28.2.4.

○会社創立記念日

木戸 博之会員 東広島平安閣 S 55. 2. 20.

お客様

西条RC奨学生 屈 凌 様

委員会報告

○例会終了後、親睦委員会を開催いたしま すので、関係者の方はよろしくお願いい たします。

幹事報告

- ○2/8 理事役員会を開催します。
- ○情報集会のテーマは「会員増強」でお願 いします。

スマイルボックス

- 〇入会記念日 今谷会員 佐々木会員 寺川会員 小松会員 山田会員 武島会員 上田俊二会員
- ○連続 100%出席 3年 小松会員
- ○本人誕生日 髙原会員 栢本会員
- ○ご夫人誕生日 武島会員
- 〇結婚記念日 三名田会員
- ○富士機械工業の新社屋の落成式おめでとうございます。益々のご発展を祈念しています。 小松会員
- ○20 世紀に継続発展した伝統産業景観の代表として西条の酒造施設群が選ばれました。

小松会員 藤原会員 島会員

☆Memo☆

西条ロータリークラブ

創立 1964年5月11日

例会日 毎週木曜日 12 時 30 分~13 時 30 分

例会場 $\overline{}$ $\overline{}$

URL:http://www.saijo-rc.jp

E-mail:saijorc@eagle.ocn.ne.jp

会長 金好 康隆

副会長 須賀 宏

幹事 武島 靖爾

副幹事 奥本 哲之